

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ななほし三沢 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2024年12月28日		~ 2025年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3世帯	(回答者数) 2世帯
○従業者評価実施期間	2025年1月18日		~ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的な生活習慣の自立に向けた支援	基本的な生活習慣の自立に向け、おこさまそれぞれの支援計画、目標に沿って支援をしています。スケジュールやタイマーを使用して活動の流れをわかりやすくするなど、構造化にも取り組んでいます。	保育園や幼稚園等との連携を強化し、事業所外での活動や様子を知ったり、情報共有を行うことで、支援を工夫していきたいと思っています。
2	就学に向けた支援	多機能型の事業所であり、児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行をスムーズに行うことができます。また、保護者様からのご相談をお聞きするなどして、就学前後の支援・サポートもいたします。	おこさまが安心して就学できるよう支援したり、気持ちをリフレッシュできるよう工夫していきたいと思っています。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っている活動の共有や情報提供	おこさまの利用前後の送迎は主に保育園や幼稚園になり、保護者様と直接顔を合わせて会話をする機会が少なくなってしまうためと考えられます。また、外部への情報発信の機会が少ないためと思われます。	今後も連絡帳やLINEなどを有効活用して保護者様が安心しておこさまを通わせられるように取り組んでいきます。また、個人情報の扱いに十分注意をしながら、SNS等で外部への情報発信を行ってきたいと思っています。
2	建物の完全なバリアフリー化ができていないこと	賃貸であることや建物の構造上、外階段を上ってからの来所となります。	完全なバリアフリー化は今後の課題ですが、現状の中で、おこさまがより安全に、快適に過ごせるように努めていきたいと思っています。
3			

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		ななほし三沢 (児童発達支援)		公表日		令和7年3月13日			
		利用児童数		3世帯		回収数		2世帯	
		はい		どちらとも いえない		いいえ		わからない	
		ご意見		ご意見を踏まえた対応					
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。		2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。		2				配置数は適切であると感じますが、理学療法士や言語聴覚士などの専門家も増えると良いと思います。	理学療法士や言語聴覚士の導入は今後の検討課題とさせていただきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。		2				シンプルでわかりやすい部屋や構造化されていて参考になります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。		2				自宅にいるかのようにリラックスできる空間になっていると思います。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。		1	1			こどもの特性を理解した関わりをしてもらっているが、結果に結びついていない感じを受けます。	おこさまそれぞれの目標達成に向けて今後も支援していきたいと思います。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。		1	1			放課後等デイサービスがメインで、児童発達支援について不明点を感じます。	困りごとや心配事、不明点などありましたら遠慮なくご相談ください。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。		2				今必要と思うことに、成長に応じて対応してもらい、助かっています。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。		2					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。		2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。		2					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1		1			今後そのような機会も検討していきたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。		2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。		2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1	1			ASDは個人差が大きいので、ASDでも知的障害がないこどもへの情報など、情報の精査が欲しいと感じます。	今後も保護者様と一緒におこさまの支援をしていきたいと思っておりますので、遠慮なくご相談ください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。		2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。		2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。		2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			1	1			保護者会やきょうだい向けのイベント等の開催には至っておりませんが、今後検討していきたいと思っています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1			ASDに対する情報に偏りを感じます。	今後も保護者様と一緒におこさまの支援をしていきたいと思っておりますので、遠慮なくご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2					今後もおこさまが安心して過ごすことができるよう努めていきたいと思っております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2				毎回楽しんで通っています。	今後もおこさまが楽しく過ごせるよう努めていきたいと思っております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				自宅では手が届かない事や集中できないことに細かく対応してもらい、満足しています。	今後もおこさま、保護者様に満足してご利用いただけるよう努めていきたいと思っております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ななほし三沢 (児童発達支援)				公表日	令和7年3月13日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	スケジュールやタイマーを使用して活動の流れをわかりやすくしています。また、室内の段差を少なくしています。	賃貸物件のため、建物の外階段など完全なバリアフリー化は困難ですが、今後の検討課題とさせていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1	朝礼や、定期的なミーティングで話し合いや情報共有を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	1	保護者面談やモニタリングなどをもとに支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	定期的なミーティングを行い、その内容をもとに支援計画を作成しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	定期的なミーティングを行い、その内容をもとに活動プログラムを作成しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節に応じた活動など、1ヶ月毎に活動プログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	朝のミーティングでは前日の様子などを話し合い、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	適宜関係機関と連携を取って支援しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	適宜関係機関と連携を取って支援しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3	適宜関係機関と連携を取って支援しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		受け入れる体制はあるが、実現には至っていません。今後、発達障がい者支援センター等との連携・活用を検討していきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		今後そのような機会も検討していきたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	個別の面談を行い、適切に情報提供を行っています。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会やきょうだい向けのイベント等の開催には至っておりませんが、今後検討していきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		今後そのような機会も検討していきたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		今のところ該当者はいませんが、必要に応じて対応させていただきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ななほし三沢 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2024年12月28日		～ 2025年1月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16世帯	(回答者数) 14世帯
○従業者評価実施期間	2025年1月18日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的な生活習慣の自立に向けた支援	基本的な生活習慣の自立に向け、おこさまそれぞれの支援計画、目標に沿って支援をしています。スケジュールやタイマーを使用して活動の流れをわかりやすくするなど、構造化にも取り組んでいます。	小学校や保護者様との連携を強化し、事業所外での活動や様子を知ったり、情報共有を行うことで、支援を工夫していきたいと思っています。
2	就学後の支援	多機能型の事業所であり、児童発達支援から放課後等デイサービスへの移行をスムーズに行うことができます。また、保護者様からのご相談をお聞きするなどして、就学前後の支援・サポートもいたします。	おこさまが安心して通学できるよう支援したり、気持ちをリフレッシュできるよう工夫していきたいと思っています。
3	調理活動や外出活動	おやつや昼食の調理活動を行い、自立に向けての支援をしています。また、土曜日や長期休暇時には定期的に外出活動を行い、社会のルールを学んだり体験や経験をjする機会を設けています。	今後も様々な調理活動や外出活動を行い、おこさまがより多くのことを体験、経験できるようにしていきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所で行っている活動の共有や情報提供	事業所内でおこさまの様子などが保護者様に十分伝えられていないのではないかと考えられます。また、外部への情報発信の機会が少ないためと考えられます。	今後も連絡帳やLINEなどを有効活用して保護者様が安心しておこさまを通わせられるように取り組んでいきます。また、個人情報の扱いに十分注意をしながら、SNS等で外部への情報発信を行ってきたいと思っています。
2	建物の完全なバリアフリー化ができていないこと	賃貸であることや、建物の構造上、外階段を上ってからの来所となることが考えられます。	完全なバリアフリー化は今後の課題ですが、現状の中で、おこさまがより安全に、快適に過ごせるように努めていきたいと思っています。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ななほし三沢 (放課後等デイサービス)

公表日 令和7年3月13日

利用児童数

16世帯

回収数

14世帯

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	2		1	庭がなく外遊びができず残念ですが、外出支援が多く良いと思います。夏は水遊びができる良いと思います。	今後も事業所内での活動に加え、外出支援活動を継続していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2		1	現状を見ているわけではないのでわかりません。	基準人員に加え、保育士または児童指導員を2名配置しております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	3				賃貸物件のため建物の外階段など完全なバリアフリー化は困難ですが、今後の検討課題とさせていただきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	3				日々の清掃を行い、おこさまが快適に、リラックスして過ごせるように努めています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2				
保 護 者 へ の 説 明 等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	3		5		外出活動の際には、地域のおこさまたちとの関わりができるよう努めていきたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	2	4		研修会はありませんが、今後ご家庭の状況に応じた情報提供等の支援をさせていただきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2		1		定期的に面談等をさせていただいておりますが、心配事や困りごとがある際にはいつでもご相談ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	4	2	7		保護者会やきょうだい向けのイベント等の開催には至っておりませんが、今後検討していきたいと思っています。



	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		1		心配事や困りごとがある際には、いつでもご相談ください。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		2		毎月「ななほしだより」を発行しており、SNSでの活動報告等も行ってあります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	2		4		各マニュアルは玄関に設置しておりますのでいつでもご覧いただけます。また、訓練も適切に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			2		適切に訓練を行っており、ななほしだより等でお知らせも行ってあります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1		2		安全計画に沿って適切に訓練や点検を行い、日々の支援を行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1				今後もおこさまが安心して過ごすことができるよう努めていきたいと思ひます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1				今後もおこさまが楽しく過ごせるよう努めていきたいと思ひます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2				今後もおこさま、保護者様に満足してご利用いただけるよう努めていきたいと思ひます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ななほし三沢 (放課後等デイサービス)				公表日	令和7年3月13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	スケジュールの掲示などを行い、一日の流れを見てわかりやすくしています。また、室内の段差を少なくしています。	賃貸物件のため建物の外階段など完全なバリアフリー化は困難ですが、今後の検討課題とさせていただきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	必要に応じて個別の部屋、場所を提供しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	4	1	朝礼や、定期的なミーティングで話し合いや情報共有を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		第三者による外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	1	定期的なミーティングを行い、その内容をもとに支援計画を作成しています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	支援計画を職員で確認・共有して支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	2	定期的なミーティングを行い、その内容をもとに活動プログラムを作成しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		季節に応じた活動など、1ヶ月毎に活動プログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	朝のミーティングでは前日の様子などを話し合い、情報共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	基本的に児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	適宜関係機関と連携を取って支援しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2	現在まで対象の利用者様はいませんが、今後必要に応じて情報提供ができるよう準備を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		今後、発達障がい者支援センター等の連携・活用を検討していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		今後そのような機会も検討していきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		開催された際は可能な限り参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	個別の面談を行い、適切に情報提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5		保護者会やきょうだい向けのイベント等の開催には至っておりませんが、今後検討していきたいと思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	地域での行事に積極的に参加しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5				